

大地震への対策はどうか

小林 節子 議員



問：小林節子議員
地震に強い町づくり対策の考えは。

答：矢嶋町長

東海地震に備えて「すまいの安全“どうかい”」防止対策事業」を15年度から18年度まで実施する。今年度は「わが家の耐震診断」を各戸に配布し、自己による耐震診断を行ってもらい、来年度から専門家の耐震診断を無料で、補強工事を、上限60万円補助で実施する。

問

自主防災組織対策は。

答：町長

大規模災害で被害を最小限に食い止めるには、地域住民の自主的かつ組織的な防災活動が必要。地域の実情に応じた自主防災組織を



地元の人達が参加して行なわれた防災訓練（落合小）

育成し、災害に備える必要がある。現在は自主防災組織ができていないため区長、区長会を通じて組織を立ち上げる指導をして行きたい。

問

女性消防団員を登用する考えは。

答：町長
社会的・家庭的要因で、新分団員の確保が難しくなっている。分団の実情により推薦があれば、団長に具申する。

問

農業取締法の改正に伴い、農業の安全使用の対応、残留農薬問題は。

答：町長

栽培日誌記帳・農薬使用方法について、農協から生産者に説明してもらい周知している。使用基準通り散布するよう指導している。

オットマコ・ジャパンの進出について

折井 金 興 議員



問：折井金興議員
町として積極的に誘致する考えは。

答：矢嶋町長

オットマコ・ジャパンが町の活性化に役立つものゆえ誘致への行動を起こすべきだという質問はもったもだが、どんな資本で、どんな業種が来るのか、説明を頂いていない。よって町としては、踏み出せないでいる状況。



ソフト関連の仕事がさかんになってきた

問
今後町のためには、この種の業種が向いていると考えるか。

答：町長

そういう業種が向いているという認識はもっているが、そのものがそれにあたるとは思えない、という調査の結果である。

問

現在の産業を続けていくとすると、高度な産業へのシフトが必要になると思うが、その支援策について。また今後はオットマコ・ジャパンのような第二次産業へのシフトが必要になると思うがその支援策について。

答：町長

製造業については工業振興事業補助金、資金融資事業、ISO支援事業で直接的に支援している。間接的には諏訪圏工業フェア、テクノフェア、ジェットロなどで支援をしている。今後は産・学・官の連携が課題だ。富士見町はどうするかという事は難しい課題。観光関係の施策を進めてゆくと他ソフト関連の企業者も増えており、力になればと考えている。